

代表者名	小山田 雍	所管部課名	教育庁 保健体育課
所在地	秋田市八橋運動公園1-5	設立年月日	昭和 55年 1月 29日

【沿革及び県の出捐理由】

秋田県における学校保健に関する調査研究及び学校保健思想の普及啓発をはかり、学校保健の向上に寄与するため学校医をはじめとする有志と県が基本財産を拠出し、公益事業の実施団体を設立した。(学校保健の一層の推進)

【出捐者】(19年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	20,000	37.0
市町村	25	1,520	2.8
その他	-	32,568	60.2
計	-	54,088	100.0

【事業】

①主たる業務

- ① 学校保健思想の普及啓発、広報。
- ② 児童生徒の健康の調査研究。
- ③ 学校保健関係者の指導研修、顕彰。
- ④ 研修会、講習会の開催、関係機関との連携。

②事業実績

(回)

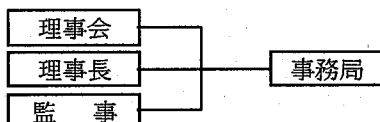
事業名等	16年度	17年度	18年度
学校保健対策事業	30	25	29

③18年度事業概要及び19年度事業計画・目標

平成18年度事業内容 肥満度計算法のソフト配布、健康診断(耳鼻科検診)、歯の健康教室
 平成19年度事業計画 寄付募金活動の現状維持、管理費の節約、事業費の拡大

【組織】

①運営機構



②役員数(H19.5.30現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤		14		2
内、県退職者				
内、県職員		1		
計		14		2
内、県関係者		1		0

③職員数(H19.4.1現在)

(人)

正職員	1	正職員 平均年齢 49歳	正職員 平均勤続年数 8年
内、県退職者			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託			
内、県退職者		正職員平均年収	
計	1		2,211千円
内、県関係者	0		

役員報酬支給対象者数	-	人
役員報酬支給対象者平均年齢	-	歳
平均役員報酬額	-	千円/年

【財務】

①損益状況(18年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	5,549
受託事業収入	805
補助金収入	630
寄付金収入	3,444
運用益収入	654
その他	16
経常支出 B	5,428
人件費	2,211
その他	3,217
経常損益 C=A-B	121
経常外収入	0
経常外支出	0
当期損益	121

②財務状況(18年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	1,649	3.0
固定資産	54,088	97.0
資産計	55,737	100.0
流動負債	0	0.0
短期借入金	0	0.0
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	0.0
引当金等	0	54088.0
負債計	0	1649.0
基本金	54,088	97.0
剰余金	1,649	3.0
資本計	55,737	100.0
負債・資本計	55,737	100.0

	(千円)
県の損失補償額	0
県の債務保証額	0

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中小企業退職金共済制度利用		

【県の財政支出】

(千円)

	16年度	17年度	18年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	0	0	0	
委託費	1,051	946	805	健康推進対策事業
貸付残高	0	0	0	

1 主な経営指標

項目		単位	16年度	17年度	18年度	16-17増減	17-18増減
健全性	自己資本比率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	-	-	-		
収益性	剰余金(▲欠損金)	千円	1,464	1,629	1,649	165	20
	経常利益率	%	3.35	2.83	2.18	▲0.52	▲0.65
	総資本利益率	%	0.35	0.30	0.22	▲0.06	▲0.08
発展性	経常収入額	千円	5,879	5,824	5,549	▲55	▲275
効率性	総資本回転率		0.11	0.10	0.10	▲0.00	▲0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	5,879	5,824	5,549	▲55	▲275
	人件費比率	%	38.80	36.61	39.85	▲2.19	3.24

2 経営目標の達成状況

経営目標			16年度	17年度	18年度	19年度
経営改善指標	寄付収入額(千円)	目標	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績	3,845	3,885	3,444	
事業成果指標	管理費(千円)	目標	321	311	400	400
		実績	439	411	403	
事業成果指標	学校保健ゼミナール参加者(人)	目標	0	260	250	250
		実績	243	187	216	
事業成果指標	事業の開催数(回)	目標	25	25	25	25
		実績	30	25	29	
顧客満足度指数		目標	-	-	60	65
		実績	-	-	47	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

高金利、安全性に富んだ債券を購入し、基本財産収入を確実に増やすことができたことと、寄付募金活動の徹底において、100万以上の収入を確保できたことが黒字財政の維持につながった。基本財産収入、寄付募金、賛助金については今後も現状維持に努めていくつもりである。

一般会計の収支において、事業費に比べて管理費の占める割合がまだまだ大きいので、人件費だけでなく、総合的な経費の節約に力を入れていきたい。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業については収入に対応する支出が明確になっている。事業費、管理費は、寄付金、補助金、運用益を原資として賄われており、健全である。 ・人件費比率は福利厚生費を含めると45%前後であり、寄付金収入に児童生徒等協賛金(一人当たり20円、経常収入のうち42%前後となる。)が含まれていることを考慮すると、必ずしも妥当とはいえない。 ・給料は高くはないので、事業規模の適切さに検討が必要と考える。 	